

結成20周年  
新たな大躍進  
に向け出発!

# 日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043(222)7207 番

99.2.17. No. 4920.

# 車両技術分科会新体制確立

## — 第10回定期委員会開催 (2/13) —

二月一三日、千葉市民会館において第一〇回車両技術分科定期委員会が開催された。議長に幕張支部高橋君を選出し進められ、はじめにあいさつにたった渡辺分科会長は、「正念場を迎えた国鉄闘争、春闘、船橋・勝浦市議選の必勝で動労千葉結成二〇周年を勝利の年」と決意をのべた。

本部を代表して田中書記長は、「結成二〇周年を機に大きな飛躍を。今日の資本主義の危機は労働者にとっては有利な時代でもある。闘う労働運動のネット



車両技術分科定期委員会

### 車両技術分科定期委員会



あいさつに立つ  
佐々藤新会長と  
高橋新副会長。

ワーク運動を全国に展開しよう。「JRの検修体制は危機にたつている。貨物では外部委託で無きに等しい。東日本でも会社方針のなかで要員の高齢化だけは進んでしまい矛盾はますます拡大している。心を一つにして闘っていこう。」

とあいさつされ、続いて常任委員会より経過報告、運動方針等の提起を受け質疑に入った。出された主な発言は、

●二五二、二一七の導入で要員は次々と減らされ、故障

も多く検修部も無く、何カ月も「入」に入らない状態だ。(幕張)

●資材倉庫の合理化で部品を取り出すにも時間がかかり効率化どころではない。検修部品もないことが多い。(津田沼、幕張)

●いくら「多能化」といえ一人でも一日にD、C、Eだ。最後に新役員を選出し終了した。

C、D、Lまで扱うのは問題だ。(木更津) などであった。

またこの間、職場討議されていた車両技術共済は、四月に発足することを確認し、必要ならば臨時委員会を開催することとした。

### 一九九八年度検修分科会役員

役職名	氏名	支部
会長	佐藤 博	木更津
副会長	田中 龍美	千葉機関区
事務長	高橋 栄	幕張
常任委員	星 和信	幕張
	宇田川 一夫	津田沼
	川村 義男	幕張
	加瀬 武正	千葉機関区
	嶋田 喜彦	京葉
	小柴 将美	木更津
	立川 芳秋	館山
会計監査委員	半田 幸夫	幕張
	鈴木 喜夫	木更津